

《佐敷小学校スタートカリキュラムについて》

◎スタートカリキュラムとは

幼児期に遊びを通して育まれた力を生かして、教科等の学習に円滑に接続するための小学校入学当初のカリキュラムのことです。実施に当たっては、生活科を中心として、合科的・関連的な指導を行うことや、弾力的な時間設定を行うことなどが学習指導要領総則に規定されています。

◎「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」



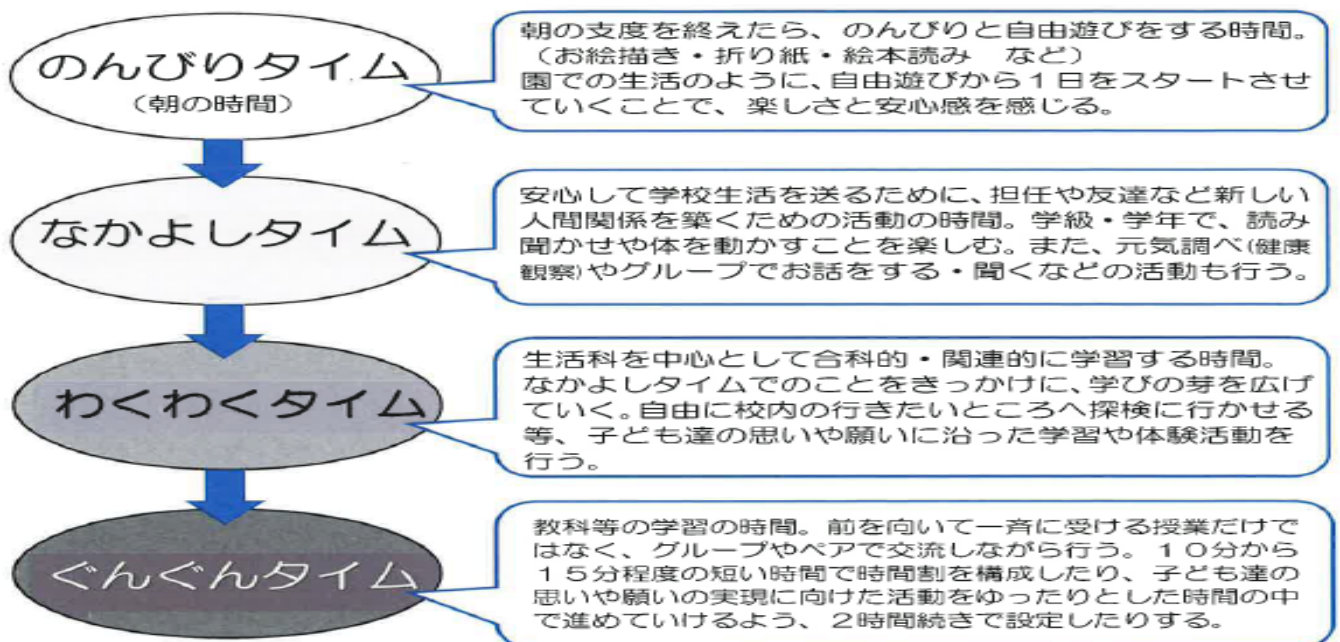
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が、存分に発揮できるような指導を工夫する。
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点として、ひとり一人の子どもや学級・学年の様子を見とる。

◎佐敷小学校スタートカリキュラムの柱

- ・生活科を中心とした、合科的・関連的な指導
- ・弾力的な時間割の設定
- ・場の設定（フロアマットの活用）
ロビーにフロアマットを敷き、のんびりタイムやなかよしタイムで活用する。



◎遊びや生活、学習の4類型



※各タイム共に、感染予防に留意して実施すること。

	4月第1週	4月第2週	4月第3週	4月第4週	5月以降
朝の時間	のんびりタイム	のんびりタイム	のんびりタイム	のんびりタイム	のんびりタイム
1校時	なかよしタイム	なかよしタイム	なかよしタイム	なかよしタイム	わくわくタイム
2校時	わくわくタイム	わくわくタイム	わくわくタイム	わくわくタイム	ぐんぐんタイム
3校時			ぐんぐんタイム	ぐんぐんタイム	
4校時	ぐんぐんタイム	ぐんぐんタイム			
5校時	給食・清掃後 13時頃下校になります。				

◎入学後4週間のカリキュラムイメージ（佐敷小学校スタイル）

合科・関連させた教科を徐々に分化し、教科等学習へ移行

◎週の計画と時間配分を工夫する

弾力的な時間割の設定の工夫をする。生活リズムや一日の過ごし方に配慮するために、「なかよしタイム」を朝の会から1時間目を連続した時間として設定したり、「ぐんぐんタイム」は10分～15分程度の短い時間を活用したり、集中力が続きやすい2時間続きの学習活動を位置づけて、計画をしています。

- ※佐敷小学校では、①4月～連休頃まで
- ②2学期始めの1週間

の2つの期間を設定し、学校は楽しいと実感して貰うような計画をしています。